

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おりーぶおりーぶ厚生病院前				公表日	2025年 3月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指定基準を満たしたスペースを確保していますが、扉や柱があるため全体を見るためのスタッフの配置を考える必要がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準を満たした人員配置をしている。	一人ひとりに丁寧に対応することを考えると人員は必要となる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関先には階段とスロープがあり、行動の間にも階段はありません。室内はフラットな状態で扉は全てスライド式になっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃をしており、ピューラックス（次亜塩素酸）にて領域グッズやおもちゃ等を消毒しております。活動内容がわかるよう、スケジュールが壁に貼ってあります。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		着替えや集中して取り組みたい時、クールダウンすることができるルームを確保しており、職員に声かけて使用することができます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に会議を行う時間を設けています。参加できない場合は書面にまとめて目を通してもらうことで共有しています。また、目標や評価については各スタッフが必ず発信するよ		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ホームページにアップされた後事務所でチェックし内容を検討するとともに結果を共有し改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		必ず一回スタッフミーティングを実施しています。また必要に応じて実施することで業務改善や新しい取り組みを考えています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後第三者による外部評価について検討する予定である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人全体での研修が実施されています。研修後はレポート提出を行い上司よりコメントにて助言をいただいています。社外での研修に参加することもあります。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		毎月第三週目にプログラムを作成し、予定表とプログラムを同時に見られるように配布しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		客観的な視点で考え、保護者と面談を行い、支援会議を実施してから作成しています。また、課題が新たに見つかった場合は、アセスメントを行うこともあります。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議にて、日頃の様子や成長（できるようになったこと）課題、今後の対応等を話し合っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援会議の記録や計画書に目を通してもらい、共通認識を図っています。また、個々で必要な支援は今後、一ヶ月ごとに担当を決め寄り添った支援を行なっていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用したり、発達検査のコピー等で情報収集をしています。また、ケース記録や連絡帳等からも情報を得るようにしています。学校への送迎がある場合は申し送りや事業所側から様子を尋ねる場合もあります。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		活動の組み合わせを実施していますが、様々な特性を持つ子供たちすべてに対する支援は難しく、それぞれに合わせた工夫を行なっていく必要があります。また、学びや楽しみ強みを活かせるような取り組みをしています。		

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	子どもが楽しんで参加できるような遊びや実験を取り入れたプログラムをスタッフがアイディアを出し合って考えています。ミーティングでは意見を一人一人発表しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	参加できない子どもがいないようイベントは一週間を通して行ったり、療育は毎日ランダムになっています。長期休暇はAM、PMと2部制で取り組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	個々の障害特性に応じた個別と集団活動を組み合わせ、本人が楽しく取り組めるような内容を設定し計画を立てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前にミーティングを行い、活動内容の確認や利用者の情報等を共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	その日に気付いたところ、改善すべきことを話し合い共有したり、会議が必要な場合は翌日実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	子どもの様子や保護者からの連絡等の記録を行い、情報共有や支援会議の際に検討・改善に使用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に保護者と面談を行い、新たな課題や支援の見直しについて検討しています。必要に応じて計画書に反映させ支援をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	ガイドラインに沿った基本活動を個別・集団活動に導入し、個々の特性に合わせて支援しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	活動の中で自分の気持ちを伝えられるよう○・×や絵カード等を使用するなど自己決定を促しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	児発管と一緒に子供のことをよく知るスタッフと一緒にサービス担当者会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	学校より計画書の提出を保護者経由で異洗があった場合は提出しており、デイでの支援方法を共有しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者より下校時間表や行事予定をもらい、送迎時に担任の先生とデイの様子や学校の様子を共有しています。緊急時は保護者同様に学校からメールが届くようになっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	子どもの様子等の情報は保護者を介して書面にて提出していただき、それをコピーさせていただきます。その書類をもとに適切な支援ができるように努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	サービス担当者会議に参加したり、情報共有の依頼があった場合は保護者の同意を得てから行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	法人内の子ども発達支援センターのスタッフと連絡をとり、支援方法や助言等をもらっています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	アイシフのフットサル等を通して交流することがある。	事業所ではまだ設けていないため今後検討する必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	法人の代表者が協議会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日頃から連絡帳、送迎時、面談等で保護者と情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	必要に応じて支援の仕方、声掛けの仕方等の助言を行なっています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に保護者に対して説明を行なっています。変更等があった場合はその都度説明する等の対応をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談の際にデイでの様子や家での様子、学校、他デイでの様子等も踏まえ意向を確認し、反映させています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		作成した書類は目を通してもらい不満がある場合は再度作成するなど同意を得てから支援しています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内で解決できるように努めていますが難しい場合は子ども発達支援センターのスタッフや上司よりアドバイス、助言等をもらい対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		参観日を設けており、デイでの子どもの様子を見たり、一緒に参加して頂いています。保護者同士が顔を合わせる機会ではありますが、保護者同士の関わり等は各自で判断して頂いています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業者内でできる限り当日に対応していますが、解決が難しい場合は時間を頂き、上司に相談し、指示を仰いでいます。苦情の解決に向けて迅速かつ丁寧な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月活動内容等を記載したお便りを配布しております。また、法人から月々に数回おりおり通信を配布することがあります。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報となり得る書類等は鍵付きキャビネットにて保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉の選択や伝え方など子どもや保護者に合わせた伝え方、表現になるよう配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		フットサルや子ども食堂等を法人が運営していますが、事業所内での交流については今後検討していきます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時の対応や感染症等のマニュアルに沿った対策をしています。スタッフにも共有し、契約時に保護者にお伝えしております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月一回必ず避難訓練の日を設けています。日常生活において起こりうる災害であるため、活動中やおやつの時間で行う場合もあり	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者へてんかん発作、服薬等の確認をしてファイルに閉じています。予防接種についてはシーズンごとに口頭にて確認する場合があります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事前に確認を行い、デイでは提供していません。基本的には保護者の指示に基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		避難訓練等において初期消化や防災グッズなど準備するなどマニュアルに基づいて安全に配慮しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		災害によっては避難場所と伏せ字で名前を掲示したり、外より建物の中が安全だと判断した場合はその場に待機し、保護者へのスタッフが連絡するよう伝えていきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		会議を行いスタッフに周知しています。同じことが起こらないようチーム内で検討、対策を考え再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待に関する社内研修があります。また、必要に応じて社外研修へ参加することもあります。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		高速が必要な場合は保護者より同意を得ています。実際に拘束を行った場合は状況、拘束時間等の記録を行い、保護者へ伝えていきます。	